

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2005-338067(P2005-338067A)

【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-048

【出願番号】特願2005-124079(P2005-124079)

【国際特許分類】

<i>G 0 1 T</i>	<i>1/20</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 2 1 K</i>	<i>4/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 4 N</i>	<i>5/321</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 0 1 L</i>	<i>27/14</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 0 2 B</i>	<i>6/08</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>G 0 1 T</i>	<i>1/20</i>	<i>L</i>
<i>G 0 1 T</i>	<i>1/20</i>	<i>C</i>
<i>G 2 1 K</i>	<i>4/00</i>	<i>A</i>
<i>H 0 4 N</i>	<i>5/321</i>	
<i>H 0 1 L</i>	<i>27/14</i>	<i>K</i>
<i>G 0 2 B</i>	<i>6/08</i>	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ファイバオプチカルプレート上に形成されたシンチレータと、  
前記シンチレータ及び前記ファイバオプチカルプレートの側壁を覆う第1の透明有機膜  
と、

前記第1の透明有機膜上に形成されたA1膜と、  
前記A1膜の表面及び前記A1膜の形成されていない前記第1の透明有機膜の表面を覆  
う第2の透明有機膜と、  
を備え、

前記ファイバオプチカルプレートは、前記側壁上の前記第1の透明有機膜が接触する部  
分の少なくとも一部に保護膜剥がれ防止凹凸を備えており、

前記A1膜は、前記第1の透明有機膜及び前記第2の透明有機膜によって覆われて  
いることを特徴とするシンチレータパネル。

【請求項2】

請求項1記載のシンチレータパネルと、そのファイバオプチカルプレート側に配置され  
ている撮像素子と、を備えていることを特徴とする放射線イメージセンサ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 6 】

この発明のシンチレータパネルは、ファイバオプティカルプレート上に形成されたシンチレータと、シンチレータ及びファイバオプティカルプレートの側壁を覆う第1の透明有機膜と、第1の透明有機膜上に形成されたA1膜と、A1膜の表面及びA1膜の形成されていない第1の透明有機膜の表面を覆う第2の透明有機膜とを備え、ファイバオプティカルプレートは、側壁上の第1の透明有機膜が接触する部分の少なくとも一部に保護膜剥がれ防止凹凸を備えており、A1膜は、第1の透明有機膜及び第2の透明有機膜によって覆われていることを特徴とする。